

流域治水に関するアンケート調査結果について

1 調査目的

本県では、近年の気候変動の影響による水災害リスクの増大に備え、流域全体のあらゆる関係者が協働して水災害を軽減させる治水対策「流域治水」を推進しているところであり、国・県・市町等で組織する大規模氾濫に関する減災対策協議会等において、流域内の防災減災対策の全体像を取りまとめた「流域治水プロジェクト」を31水系で策定した。現在、プロジェクトにおける地域の住民・企業等の参画が課題となっているため、今後「流域治水」を一層推進していくにあたり、県民の「流域治水」に対する認知度及び参画への意識について把握するために調査を実施した。

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

3 調査期間

令和5年11月22日（水）～同年12月4日（月）

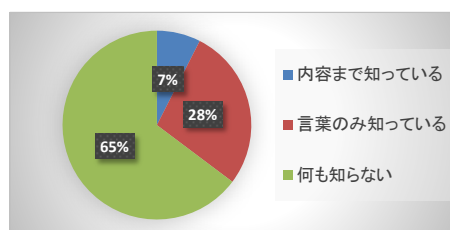
4 回答者数

400人（18歳～79歳の県内在住者）

5 概要

【「流域治水」の認知度】

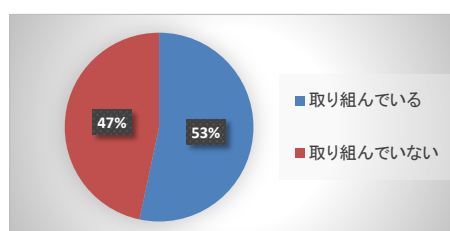
- ・内容まで知っている：30人（7.5%）
- ・言葉のみ知っている：111人（27.8%）



【「流域治水」の取組状況】

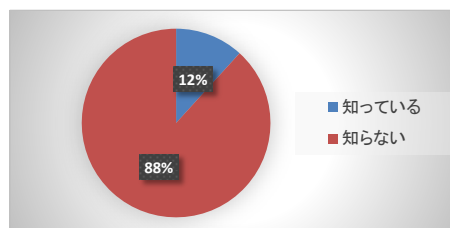
※回答対象「流域治水の内容まで知っている」30人

- ・取り組んでいる：16人（53.3%）
- ・取り組んでいない：14人（46.7%）



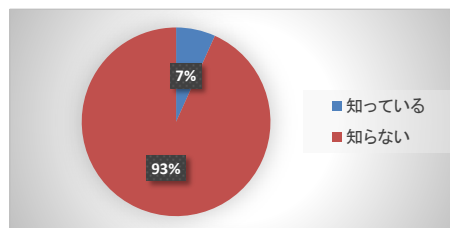
【「流域治水マニュアル」の認知度】

- ・知っている：47人（11.8%）
- ・知らない：353人（88.3%）



【「愛媛県流域治水推進企業等」の認知度】

- ・知っている：27人（6.8%）
- ・知らない：373人（93.3%）



【「愛媛県流域治水ロゴマーク」等の認知度】

- ・知っている：33人（8.3%）
- ・知らない：367人（91.8%）

